

八たけの寝さ免草

八たけの寝さ免草

旅ごころもはるかな海の雨なる女護嶋の嶋のあら増

を世のふることに伝へきけばもろこしし秦始皇帝

と世のふることに伝へきけばもろこしし秦始皇帝

長生不老の仙菜をもとめ給ふ事いと親切なりし

かば宋無息といふもの奏していはく扶桑の東に

三ツの仙山ありこの山仙人あまた住て不老不死の

菜と飾しとう方士佐後と呼ぶもの性は彼仙山に

ありしも何りしやと思へ上りれハ始白玉を取らち

佐後も恨み彼が子乞ま任せて大船十艘と遣ふしめ

童男が女のくみ百人し金銀珠玉五穀の志を

りし東海あり蓬萊北山へをつて仙丹取

三下